

# 最小・最強の県庁を目指して

「企画財政委員会の紹介からお願いいたします。」

具体的には、県行政の総合的な企画および調整、歳入の確保、行政改革の推進、県行政の組織および職員定数の管理、地方分権の推進、市町村における行政の充実、地域の総合的な整備、土地政策や水政策の推進、さらに公共交通網の整備など、

規模の補正予算案が提出され、当委員会へはそのうちの、歳入に係る部分などが付託され、審査が行われました。委員からは、主に歳入の国庫支出金のうち、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」について、質疑や意見が出されました。

付額や基金を活用する事業などについて国から情報が遅れているものがあり、今回は交付額や基金を活用する事業がおおむね見込める6基金について予算化した。残りの基金については、国からの情報収集や事業の把握に努め、速やかに対応したい」という答弁がありました。

兵庫県では、阪神・淡路大震災からの復興の過程で、大きく悪化した財政の改善を図るために、昨年10月、「行財政構造改革の推進に関する条例」を制定しました。この条例では、推進方策の策定や変更などを行う場合に、議会の議決を経ることが義務づけられています。これにより、執行部と議会が一丸となつて行財政改革を行うこととしています。本県でも現在、「新行財政改革プログラム」に基づき取り組みを行っています。本県は、「最小・最強の県庁」を目指す本県にとりましても、兵庫県の取り組みは、大変参考になるものでした。

小林哲也委員長（北第6区）は、厳しい財政状況の中で、必要な施策に予算や人を重点的に投入し、政策課題に対応できるよう、委員会の審査や活動に全力で取り組むとしている。

企画財政委員会は、委員長、副委員長と10人の委員で構成。審査する分野は、県行政の総合的な企画や行政改革の推進、地方分権の推進、公共交通網の整備など多岐にわたる。

# 企画財政委員会

## 委員の顔ぶれ



小林哲也委員長（北第6区選出・自民）



石井 平夫副委員長  
・東第6区

（自民）



中屋敷 健一委員・南第16区

（刷新の会）



小島 進委員・北第5区

（無所属）



渋谷 智秀委員・東第8区

（民主党・無所属の会）



遠澤 義明委員・東第11区

（自民）



加藤 裕康委員・北第5区

（自民）



奥ノ木 信夫委員・南第2区

（自民）



長沼 威委員・南第8区

（自民）



佐久間 実委員・東第8区

（自民）



西田 矩子委員・南第18区

（公明）



山川 百香子委員・南第1区

（民主党・無所属の会）

「ほかには、どのような議論がありましたか。」  
小林委員長 「国の第一次補正予算において14基金が設置されているが、今回の補正予算で6基金のみを計上した理由は何か」との質疑がありました。これに対して、執行部からは、「基金原資の交



「最小・最強の県庁」を目指す兵庫県庁（本庁舎）

## 予算や人を重点的に投入

「今後の委員会活動について、委員長のお考えをお聞かせください。」

小林委員長 委員会が所管する企画財政部は、さまざまな政策課題に機動的かつ柔軟に対応して、効率的に成果を上げることが目的として昨年度設置されました。これは、県行政の企画と予算、組織部門が一つの部とな

り、それぞれの連携を強化して、必要な施策に予算や人を重点的に投入することで、政策課題に対応しようとするものです。

効果的に使っていくのか、企画財政部を設置した真価が問われることになると思っております。そして、そのような企画財政部を所管している本委員会の責任も重大です。視察先での調査内容なども参考にして、委員の皆さんとともに今後の委員会の審査や活動に全力で取り組んでまいります。

規模の補正予算案が提出され、当委員会へはそのうちの、歳入に係る部分などが付託され、審査が行われました。委員からは、主に歳入の国庫支出金のうち、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」について、質疑や意見が出されました。

このほかにも、付託された案件について活発に議論が行われました。

このほか、大阪市における水辺を生かした地域の魅力づくりの事例などについて視察いたしました。